

智頭病院 小児科 ● [小児科の書庫] wix版 [一覧・索引]

智頭町 > 国民健康保険智頭病院 > 小児科 ● 子育て支援：今月の当直等 ● [小児科の書庫]wix版 [一覧・索引]

智頭町報(広報ちづ) **幸せな人生とするヒント** '16年2月~'17年1月 | **幸せは 見つめ愛 育み合い** '17/2~'18/7 原稿.pdf

小児科



鳥取県 智頭町 ちづ
国民健康保険 **智頭病院** ● みどりの風が吹く疎開のまち
CHIZU TOWN

智頭病院
トップ

診療日程

病院当直
等予定

小児科
リンク集

業績集
(随筆)

履歴

更新記録

Lovely
Children
'16/2/18

個人HP

智頭町報
(広報ちづ)

◆ようこそ 小児科です。

● 外来診療日程 ● 任意予防接種:料金

● 子どもたちから学び、作成し得た資料 [\[小児科の書庫\]](#) (pdf / wix版) を設定しました。
[\[蔵書一覧・索引\]](#)はコチラ

- あなたは筆を適切に持ち、操作できますか？ 子どもに正しい筆の持ち方を伝承していますか？
- [\[幸せは 見つめ愛 育み合い\] 第16回 ~ 智頭中3年生への授業:性・命・人権](#) 町報(広報ちづ)5月号 ('18/4/26)
- [\[幸せは 見つめ愛 育み合い\] 第1回\(2017年2月\)~第18回\(2018年\(7月:1年半\)分\)の原稿.pdf](#) ('18/4/9)
- 智頭中学校3年生対象の特別授業:教育講演「[生命を考える ~ 幸せな人生とするために ~ 解説付 講演資料](#)」: pdf版 資料 ('18/2/6)
- [インフルエンザの臨床像と感染制御:軽症経過例\("隠れインフル"\)の出席停止期間](#) ('18/2/5)
- 智頭町内、インフルエンザA型・B型ともに流行中! 参照:[\[幸せな人生とするヒント:第1・2回など\]](#) [\[インフルエンザシーズンの健康生活\]](#)・[\[ノドのケアなど\]](#) ('18/1/17)

- 12月中に4回の口演・講義・講演~智頭に異動後15年目で最多回数:12/8~26 ('17/12/26)
- 第36回 鳥取県小児保健協会総会・研修会(2017年12月10日 鳥取大学医学部 米子市)での発表
口演「小学校で発生した胃腸炎集団感染事件の体験~国保直診・学校医の責務」抄録
- [智頭町報\(広報ちづ\)\[幸せは 見つめ愛 育み合い\]1年半・18回分の原稿](#)

幸せは 見つめ愛 育み合い [\[原稿18回分\(2017/2~'18/7\) pdf版\]](#)

町報(広報ちづ) 連載中(2017/2~) ブログ版

[第1回 | シリーズへの思いとRSV感染症](#) [第2回 | 溶連菌感染症とインフルエンザB型](#)

2003年11月に鳥取県立中央病院から異動

毎年4月開催の日本小児科学会学術集会に、2005年4月から実践を発表

2009年度 日本小児科学会学術集会：依頼を受けて講演

総合シンポジウム 6

地域の小児医療の問題点とその解決を目指して
小規模小児科の問題点

過疎地病院における小児医療 ： 医療圏一人小児科医の実践と夢



国民健康保険智頭病院
小児科

大谷 恭一

鳥取県立中央病院小児科で果たした職務

1981.4～2003.10

NICU ・ 地域的システム化

2・3次入院診療 ・ 造血幹細胞移植

専門外来 : 痙攣性疾患 ・ 発達外来

感染制御関連 : 院内での責任
SARS等 ・ 県行政との連携

鳥取療育園 : 園長職務 ・ 行政・地域内連携

鳥取養護学校 ～ 病弱・肢体不自由 : 医教連携 校医

鳥取県 ～ 福祉保健部・教育委員会 : 各種会議・委員会等

鳥取市 : 母子保健対策、児童虐待防止協議会(会長)

医師会 : 母子保健対策等 1981年～ 病院管理

チーム医療

県・広域

智頭病院には自発的に異動：経緯

2003.11～

智頭病院小児科医が不在になった。

→ 智頭医療圏に小児科医が皆無となった。

救急受診した病院新患小児の保護者の発言

「智頭町では子育てが出来ない！」

初代医療局長兼 小児科部長

管理業務主体 → 院長の理解 → 臨床の現場へ

片山前知事の基本方針 ～ 「現場主義」

(2期目無投票当選後の人事動向：異動機会に恵まれた)

智頭町内子育て中の保護者有志による署名活動

⇒ 2003年11月に異動 : 小児科常勤医 不在期間 2年余

初心 < 異動の事実を、母親のみが驚かず ! >

: 地域で子どもたちの育ちを見守る小児医療への憧れ

国民健康保険智頭病院小児科での実践

2003.11～

第108回 日本小児科学会学術集会 2005.4

地域密着型公的病院における一人小児科医の取り組み

- ・ 町民ボランティアによる「小児科モニター制度」
～ 広義の医療・子育て支援に係るニーズも受け、可能な還元
- ・ 検査・点滴や入院の医療ニーズを含む「急性疾患問診表」
～ 保護者の診療ニーズを掌握する上で有用
- ・ 丁寧に診ていく必要のある急性疾患症例における
時間外・休日対応用の期間を限定した「小児科安心パスポート」
- ・ 「小児科だより」～ 啓発資料を作成し、地域住民に還元し、
かつ、外来診療に役立てている。→ HP で公開

町長・町議会担当議員との懇談会

町内(学校・地域)での多様な講演会

病院事業管理者・院長ほか、院内会議等の機会

⇒ 智頭町での小児医療のあり方について啓発

◎ 小児科モニター・保護者の願い

～ 痛みを伴う検査・治療は、出来れば避けたい。

～ 被爆を伴う検査・治療は、出来れば避けたい。

～ 可能ならば、入院はしたくない。

～ 入院しても、出来れば、短期間で退院したい。

⇒ 病院収入は減ることになる。

町直轄の公的病院ゆえ実践できること！

鳥取県立中央病院小児科の職務

仕事量

ストレス	医療	社会小児科学
	入院主 / 3・2次	各施設間連携
	専門外来	県行政連携
	チーム医療	市町村支援

単科当直・待機 当番制

国民健康保険智頭病院小児科の職務

医療	社会小児科学	成育支援 全人医療 家族支援	
2・1次 / 主 外来	地域啓発活動		全科当直 6回/月 & 待機
一般外来	町行政支援		
家庭医機能	子育て支援		

拘束時間

小規模小児科の問題点 視点を変えて 過疎地病院における小児医療のあり方

- 信頼を得るに値する医療技術の質を維持すること
- 医療方針を理解・信頼し、受診してもらえること
- 重大な病態の見逃しは致命的です。
しかし、過剰な検査も望ましくない。
- 脱水症例、見えない手背静脈への点滴確保など、保護者や看護師の信頼を得る技術が必要。他の医師に頼れない。
- 病院外での「社会小児科学」的活動の比重が高い。
＝ 小児保健・予防医療であり、病院収入には反する。
- 全科当直を担える医療経験が必要
- ★ 過疎地の公的病院には、小児科医は必要不可欠です。
～ 地域の医療・保健・福祉・教育 & 子育て支援の要：必須！

過疎地病院における小児医療 医療圏一人小児科医の夢

* 2003年11月異動後6年目。乳児だった子たちは就学年齢。
今後、義務教育を終えるまで見守りたい夢があります。

* 過疎地病院における小児科医の役割は、院内での診療に留まらず、社会小児科学的活動の比重が大きく、医療・保健・福祉や教育との連携、町づくりへの参画もあります。

～ 子どもたちが育つ地域環境を整える職務といえます。

* 臨床経験を重ねた上での過疎地病院勤務は、臨床小児科医のQOLを高めることになります。

* 保険診療収入・赤字論議に留まらず、行政施策として、過疎地に小児科医が配置されることが願いです。

町立智頭中学校の依頼で毎年 2 月に 3 年生を対象とした特別授業を継続しています。

付：2003 年 11 月の異動年に出生した子らが今年 3 月に中学校を卒業しました。

智頭中学校 3年生 特別授業 性教育講演会

2018年 2月 6日

生命を考える ～幸せな人生とするために～

写真を見て感じること・考えることは？

戦争 難民 貧困 災害



ステキな目・表情

衣 食 住
水 空気 安全

NGO“Save the Children”の写真



不安そうな目・表情

学校・教育は？
関係性は？
幸せとは何か？